

ごあいさつ



春暖の候、市民の皆様にはますます清栄のこととお喜び申し上げます。さて、本年2月17日から3月14日までの日程で開催されました市議会通常会議では、本市の平成26年度予算を中心に、慎重かつ積極的な審議を行いました。

特に本市の国民健康保険事業の財政状況は、医療費の増大により近年急速に悪化しています。そのような中で市長から提案された平成26年度予算では、保険料が平成25年度と比較してモデル世帯で約5万円、率にして15%という大幅な値上げとなりました。

国保の制度上、医療費の増大によって保険料が値上げとなることは一定やむを得ませんが、国保加入者は所得水準の低い世帯が大半であること、また消費税の引き上げにより家計の支出が増える中、保険料負担がますます家計の重荷になることを考慮し、わが湖誠会としましては、このような大幅な保険料の値上げは到底容認できないものと判断いたしました。

そして、国保制度を安定的に運営させる責任と保険料の値上げのバランスを検討し、他の会派の賛同も得て、値上げ幅を8%とする予算の修正を行ったものであります。

われわれ市議会議員の任期も残すところあと1年あまりとなりますが、わが湖誠会は最後まで責任ある市政運営に努めてまいり所存でありますので、市民の皆様にはますますのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

幹事長

竹内 照夫



# 市議会2月通常会議

## 会派代表質問

湖誠会 竹内照夫幹事長

### 質問項目

- 市長の政治姿勢について
- 平成26年度予算編成について
- 大津市・志賀町合併建設計画について
- 次期大津市総合計画について

子育て施策と高齢者施策のバランスについては、待機児童ゼロを目指して保育所等の施設整備や、発達相談センターの開設など子育て支援のための経費を措置した一方、特別養護老人ホームの施設整備や介護保険事業特別会計への繰入金を増額するなど、高齢者が健やかに暮らせるための経費を措置し、子育て施策、高齢者施策、ともに充実した予算編成となったと認識しています。

大津市・志賀町合併建設計画の進捗状況と今後の取り組みについて伺う。また、近江舞子周辺地域の活性化について見解を伺う。

市長は、橋下大阪市長の辞職と選挙について「民意を問うことは正攻法で大賛成である」と発言されているが、議会で議論するという姿勢が見えず、議会軽視とも考えられる。市長と市議会の関係について、市長の見解を伺う。

市長：平成25年度は、北部地域総合消防防災センターの建設、道の駅に係る地域振興施設の実施設計、JR和邇駅周辺の整備、JR蓬萊駅以北の5駅のバリアフリー化の検討等に取り組んでまいりました。本計画は、大変重要な存在であると認識しておりますことから、できる限り、残る課題の解決に努め、必要な事業を実施して計画の目標達成に努力してまいります。

市長：市長と市議会議員が、議会という場で活発な議論を交わすことにより、多様な意見を反映した市政運営が可能になると認識しています。

また、近江舞子周辺地域の活性化については、旧近江舞子ホテル跡地を本市で取得することは近年の財政状況から大変困難であり、適切な民間の力を活用する方向で進めてまいりたいと考えております。なお、庁内の関係所属が集まり、検討会議を開催し、地域活性化に資する事業の有無や実施の可能性について検討を始めたところです。

先の発言は、民意を反映した市政を推進することが重要であるとの趣旨であり、市長選挙の結果に市議会が従うべきと述べたものではありませんが、言葉が足りずお詫びします。今後、二元代表制のもと、大津をよくするという共通の目的に向かって大いに議論し、市民の皆様のための諸施策を進めてまいります。

市長：市のまちづくりの目標や目指していく将来の姿を定め、それを実現していく手法や手段を総合的かつ計画的に明らかにした行政運営の指針は重要であると認識しております。人口減少、少子高齢化という大きな行政課題を見据え、本市として将来に向けた長期的なまちづくりの展望を掲げる次期総合計画の策定に向けて、平成26年度から取り組みに着手してまいりたいと考えております。

平成26年度の予算は、どのような編成方針のもと、財政健全化に向けた取り組みをするのか。また、子育て施策と高齢者施策のバランスについての見解を伺う。

市長：第3期実行計画の着実な推進と財政指標目標達成に向けた健全財政の堅持を基本方針として掲げ、補助金の見直しや使用料の適正化を踏まえ経常経費の精査に意を払い、市債発行の抑制や基金残高の確保に留意し、真に必要な事業費を措置しました。

市長：第3期実行計画の着実な推進と財政指標目標達成に向けた健全財政の堅持を基本方針として掲げ、補助金の見直しや使用料の適正化を踏まえ経常経費の精査に意を払い、市債発行の抑制や基金残高の確保に留意し、真に必要な事業費を措置しました。

市長：市のまちづくりの目標や目指していく将来の姿を定め、それを実現していく手法や手段を総合的かつ計画的に明らかにした行政運営の指針は重要であると認識しております。人口減少、少子高齢化という大きな行政課題を見据え、本市として将来に向けた長期的なまちづくりの展望を掲げる次期総合計画の策定に向けて、平成26年度から取り組みに着手してまいりたいと考えております。

# 平成26年度予算が決まりました

●平成26年度の予算が2月市議会通常会議及び3月市議会特別会議で可決されました。なお、平成26年度の予算は、当初予算に第1次補正予算を加えたものとなります。

### 平成26年度予算 (対前年度当初比)

一般会計	(3.9%)
特別会計(9会計)	(4.5%)
企業会計(5会計)	(5.4%)

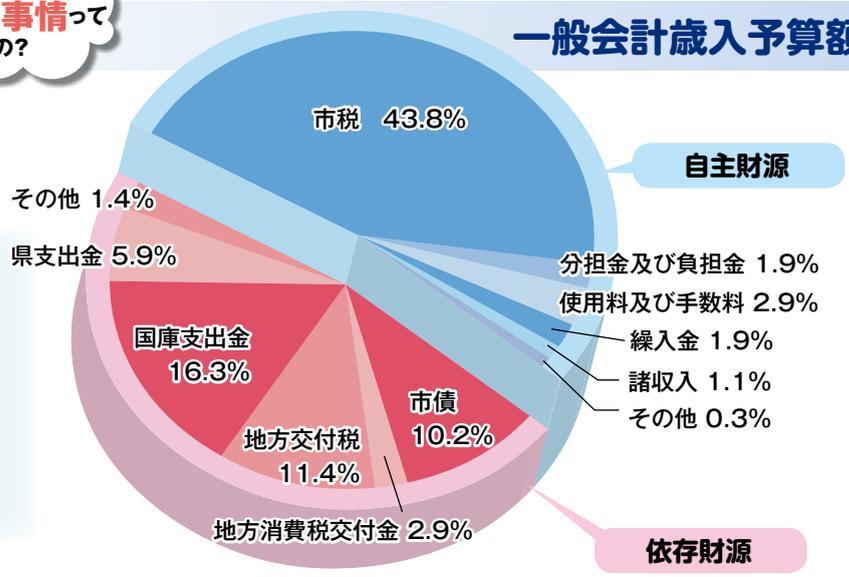
**1,118億6,661万8千円**

**614億1,890万円**

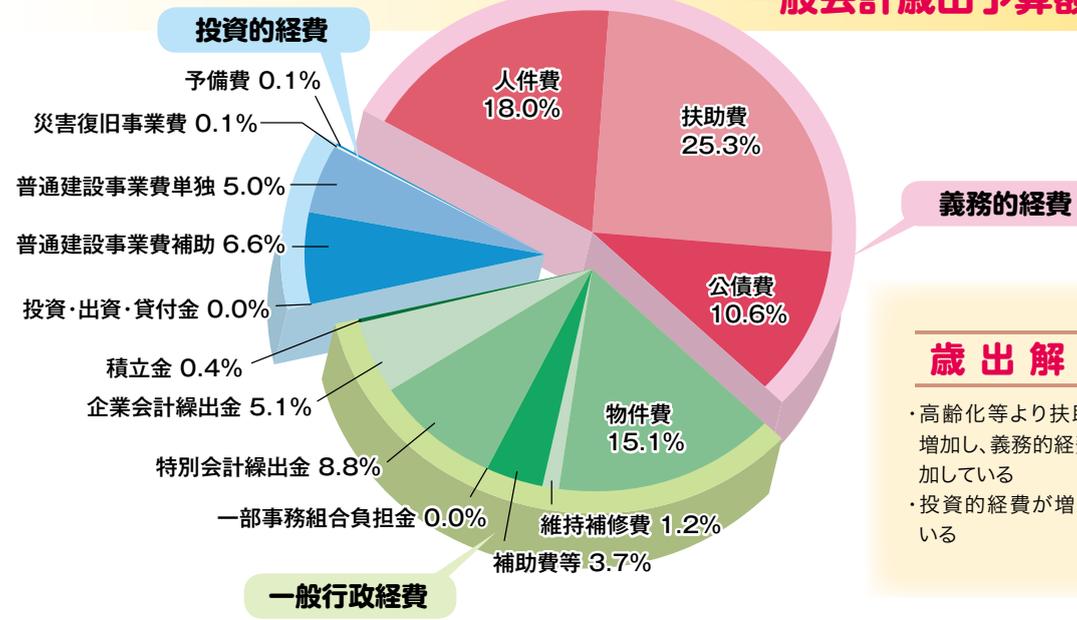
**696億8,027万円**

アベノミクス効果により景気が回復し、企業収益・雇用情勢も改善され、市税収入が前年度より増収となる見込みですが、一方で高齢化等により社会保障関係経費が増加する中、湖誠会が政策要望で求めている待機児童解消に向けた保育園の整備、学校の大規模改修、膳所駅周辺や大津駅西地区等の都市基盤整備などの政策の実現が図れました。

## 一般会計歳入予算額



## 一般会計歳出予算額



### 歳出解説

- ・高齢化等より扶助費が増加し、義務的経費が増加している
- ・投資的経費が増加している

### 歳入解説

- ・景気回復により、税収が増加している
- ・一方で、国庫補助金などの依存財源も増加している

市の台所事情ってどうなの？



## 借入金(市債) 現在高の推移



※H17は旧志賀町、旧大津市志賀町行政事務組合から引継いだ起債を含んでいます。

平成26年度末市債残高見込額	総額	<b>117,521,670,000円</b>
	市民一人当たり	<b>343,044円</b>

大津市の「借金」ってどれくらいあるのかな？



### 主な事業内容

厳しい財政状況ではありますが、市民サービスの向上を目指して提案した政策要望が、平成26年度予算に盛り込まれ、向上を求めています。

- 子育て
  - 民間保育園施設整備補助 ..... 12億4,216万円
  - 保健所等移転整備 ..... 1億8,656万円
  - 子どもの発達相談 ..... 2,106万円
  - 小中学校大規模改修 ..... 6億4,752万円
- 都市基盤整備
  - 膳所駅周辺整備 ..... 7億4,757万円
  - 大津駅西地区土地区画整理 ..... 8億9,093万円
  - 堅田駅西口土地区画整理 ..... 8億3,100万円
  - 道の駅整備 ..... 5億8,563万円
  - 市道橋長寿命化推進 ..... 8,716万円
  - 駅のバリアフリー化推進 ..... 1,500万円
- 行政改革
  - 公共施設マネジメント推進 ..... 1,124万円
  - (仮称)行政改革アドバイザー設置 ..... 75万円
- その他
  - 旧竹林院再生 ..... 6,766万円
  - 医療用機器更新整備 ..... 6億1,739万円
  - 刈り草剪定枝再利用整備 ..... 6,180万円

## 市民一人当たりの予算額326,537円はこんなふうに使われます

民生費 42.9%	高齢者、障害者、児童の福祉推進などに	<b>140,059円</b>
衛生費 12.5%	ごみ、し尿の処理や健康管理などに	<b>40,833円</b>
土木費 11.4%	道路、公園、公営住宅の整備推進などに	<b>37,381円</b>
公債費 10.6%	借りたお金の返済に	<b>34,683円</b>
総務費 8.5%	企画、自治振興、防災対策などに	<b>27,702円</b>
教育費 8.1%	学校の管理運営や整備などに	<b>26,323円</b>
消防費 3.2%	消防や救急業務などに	<b>10,489円</b>
その他 2.8%	産業・観光の振興などに	<b>9,067円</b>

※金額は一般会計の歳出額を平成26年2月末日現在の人口342,585人で割り戻した額  
※表中の%は歳出全体に占める割合

これからも市の財政に注目してね!





## 行政視察

### 福岡市消防局の組織及び装備について

#### 所感

福岡市消防局は、消防航空隊に2機のヘリコプターを常備しており、その特性を活かして、空から災害状況を撮影し、得られた情報をリアルタイムに指令管制所へ伝達している。それらの情報が陸や海の災害現場へと正確に伝達され、最前線において活用され効果的な消火・救急活動の遂行を可能にし、二次災害の防止に成果をあげている。



大津市消防局は、一昨年の大津南部豪雨災害や昨年の台風18号による被災を経験する中で、災害時における、正確な情報の収集と伝達は、市民の生命財産を守る上で重要な役割を果たすものと再認識している。

この点について、更に県の防災ヘリコプターとの連絡連携を深めて、混乱を避ける災害現場において情報を正確に収集し、速やかな伝達活用が行える通信指令管制情報システム体制の強化を求める。

次に、大津市消防局が平成26年度に更新する3代目消防艇「おおつ」については、琵琶湖で盛んなレジャースポーツに伴う、湖上事故に対応できる救難救助における機能強化と大規模災害時に陸上交通網が寸断された場合における、被災者や物資の湖上輸送などを担うことを念頭にしながら整備を進めており、今後、想定される様々な事案に即応できる機能を備えたものと認識する。

「琵琶湖を守る唯一の消防救急艇」として、国民・市民から信頼される船となることを期待する。

### 下関市・総合計画と新総合計画について

#### 所感

大津市総合計画は平成28年度が最終年度となることから、次期総合計画策定に当たっては、地方自治法の一部改正により、計画策定の義務規定はなくなったものの、本市は平成29年度を初年度とする次期総合計画の策定が不可欠であることから、次期総合計画の策定に着手されている下関市へお伺いした。

調査項目としては、平成26年度が最終年度となる下関市総合計画の概要・計画策定の趣旨・計画の構成・計画期間・計画策定の背景・基本構想及び基本計画や進捗状況及び施策や事業の効果や効率性の検証についてお聞きし、市の取り組んだ施策の「市民実感調査」達成度や実績値などを調査した。

次期計画の10年間については、計画策定に係る基本方針として、基本構想・基本計画・実施計画の3層とし、新総合計画策定のスケジュールに基づき、総合計画審議会、市民アンケート調査、市民フォーラム、住民説明会、パブリックコメント、地域審議会による意見回答他、議会へはスケジュール報告、中間報告（構想案・計画案）提出し進められる。

本市においても、人口の増加は平成32年をピークに減少傾向に転じると推計されており、少

子化、高齢化、財政難、行財政改革及び公共施設の老朽化や防災面など問題や課題は山積しており、市民の皆様が安心して安全を確保される住みよいまちづくりを目指して種々の面から検討し、総合計画の策定に取り掛かる必要は明白である。

わが党派としても今回の視察先である、下関市の内容を参考にし、議会として十分に議論し検討していく必要性を認識した。



### 春日市・コミュニティ・スクールについて

#### 所感

福岡県春日市教育委員会を訪れ、「コミュニティ・スクール推進員である山本直俊教育長の取り組みに関する8年間の実践の成果と現状について視察した。

コミュニティ・スクールの三つの成果として、学校経営・運営面からは、学校評価に保護者・地域住民が参加することにより、授業改善が子どもたちの学力向上につながり、授業や行事、教育環境整備などにおいても保護者や地域住民による学校支援が進んだ。また、学校による積極的な情報発信により、学校理解が深まり、学校が支える地域基盤づくりになっていた。

家庭、地域の取り組みの面からは、「学問のすすめ」運動で学校と家庭の架け橋となる「日の出っ子ノート」を活用し、子どもが一日を振り返り日記を書く習慣ができ、教員と保護者の連絡が相互に行われ、親の学びの場の提供が進んでいた。

子どもの変容面からは、子どもが地域に対する帰属意識や、地域・郷土に貢献しようという地域愛・郷土愛が高まり、その結果、補導件数が激減し生徒の地域ボランティアへの参加人数が急増していた。

これからの学校は、保護者や地域の方々の願いに耳を傾け、子どもが育つ教育（知育・徳育・体育・食育）を共に創っていくことが求められる。保護者や地域の方々が学校の教育活動に関わる事により、学習活動が広がり、内容は豊かになり、各学校では特色のある教育活動が活発に展開されていく。また、こうした活動は、地域社会のつながりを深め、強めるまちづくりに



もつながり、学校と家庭・地域が協働した公立小・中学校の新しい仕組みづくりとなるため、本市の教育行政において有益な政策提案に繋げていきたい。

## 2月通常会議一般質問

### Q 桐田 真人議員

『幼稚園エアコン工事実施設計費計上見送りについて』平成26年度一般会計当初予算案において、教育委員会が要求していた幼稚園空調設備設置工事実施設計費の計上を、市長査定において、突如、見送られている。

市長は、一般質問答弁や昨年8月に開催された子供議会における子供議員に対する答弁において、当該事業の実現を固く約束されている。これまでの約束を一転翻意してまで、予算計上を見送るに至った、自らの判断・指示・認識について、詳細に伺う。また、当該事業の実現について、改めて市長の決意を伺う。

A 幼稚園規模の適正化やあり方などについて整合性を図る必要があるため、当初における予算計上を見送ったが、平成26年度において補正予算の措置を行う。また、幼稚園におけるエアコン整備の方針には、変わりない。

### Q 近藤 眞弘議員

『ご当地ナンバープレートについて』

平成25年6月通常会議で提案した、ご当地ナンバープレートについて早速、予算計上頂いた。観光振興・交通安全・本市のイメージアップになるかと考えるが、今後どのような方法でモチーフのデザインを決定するのか、導入車種の予定、導入時期について伺う。

A デザインについては、郷土愛の醸成や観光振興の観点から「大津らしさ」をアピールし、広く公募することで魅力あるデザインを決定する。導入車種は登録台数や用途を鑑み、125cc以下の原動機付自転車を対象にする。導入時期については、平成26年度早々に着手し、デザイン審査から交付等の所要期間をみて、平成27年1月頃を目処としている。

### Q 園田 寛議員

『発達障害支援について』

大津市の学校、園に於ける発達障害児の実態把握と平成26年度特別支援教育支援員の配置について伺う。

A 学校訪問で児童生徒の様子及び個別の指導計画の内容を確認、また、各学校から発達支援教育支援員の配置は、特別な支援を要する児童生徒の人数や障害の程度、学校施設の状況などを勘案して、総合的に判断している。発達障害のある児童生徒の増加に伴い、配置計画を見直したところ、約1300名の担任外の支援が必要な児童生徒がいることがわかり、現行より5名増員の93名の予算要求をした。

### Q 伴 孝昭議員

『認知症対策について』

かかりつけ医や認知症サポーター医による早期の的確な診断や介護の連携をどのように確保されるか、認知症の早期発見・早期治療に繋がっていくか見解を伺う。

A 平成26年4月より、認知症の早期診断を受診されない高齢者や家族・介護事業者の職員を対象に、大津市医師会とともに、地域の開業医や認知症サポーター医による「認知症来所相談」を、全てのおんしん長寿相談所で開設する予定であり、認知症高齢者の早期診断、早期対応に繋げていく。

### Q 津田 新三議員

『聖田、瀬田支所での土曜閉庁について』

平成26年4月から聖田、瀬田支所での土曜日の証明書発行サービスが廃止されるが、11月にコンビニエンスストアでの証明書発行サービスが開始されるまで両支所の土曜閉庁を延期する必要はあるかと考えるが、所見を伺う。

A 行政運営の効率化などの観点から、聖田、瀬田支所での土曜日の証明書発行サービスは廃止することにした。コンビニエンスストアでの証明書発行サービスは11月から始める予定であるが、それまでの間、市民に迷惑をかけることになるため、導入に向けた体制を4月から整えて円滑に事務処理を進めていき、1日でも早く開始できるように努めていく。

### Q 八田 憲児議員

『行政改革の取り組みにおけるサービス向上の視点について』

行政改革は持続可能な都市経営を目指す上で有効なものであるが、一方で、一般市民や関係諸団体に対して負担や痛みを強いられる部分もあることから、サービス向上の視点からも行政改革を進める必要がある。

民間でできることは民間に委ね、重点的に取り組むべき事業への職員配置や財源確保を可能としていくために、「専門定型業務」の民間委託として、例えば戸籍住民課の業務を包括的に民間へ一部委託し、職員の適正配置をすることも、更なる市民サービスの向上を図っていくべきと考えるが、市当局の考えを伺う。

A 後期集中改革プランにおいて専門定型業務の民間委託の推進を掲げており、民間による行政運営の簡素化・効率化・定員管理の適正化、市民サービスの向上の観点からも、今後民間委託について検討していく。

# 湖誠会は、市民の皆様と ともに歩んでいきます。 ～これまでも、そしてこれからも～

**1 北村 正二**  
きたむら しょうじ

新年度予算に和邇インターチェンジ道の駅整備、特別養護老人ホーム松の浦湯治の郷に対する補助金、湖西線JR駅バリアフリー化推進事業費（基本設計）などが計上されました。着実なる地域の発展を!

**2 津田 新三**  
つだ しんぞう  
 副政調会長

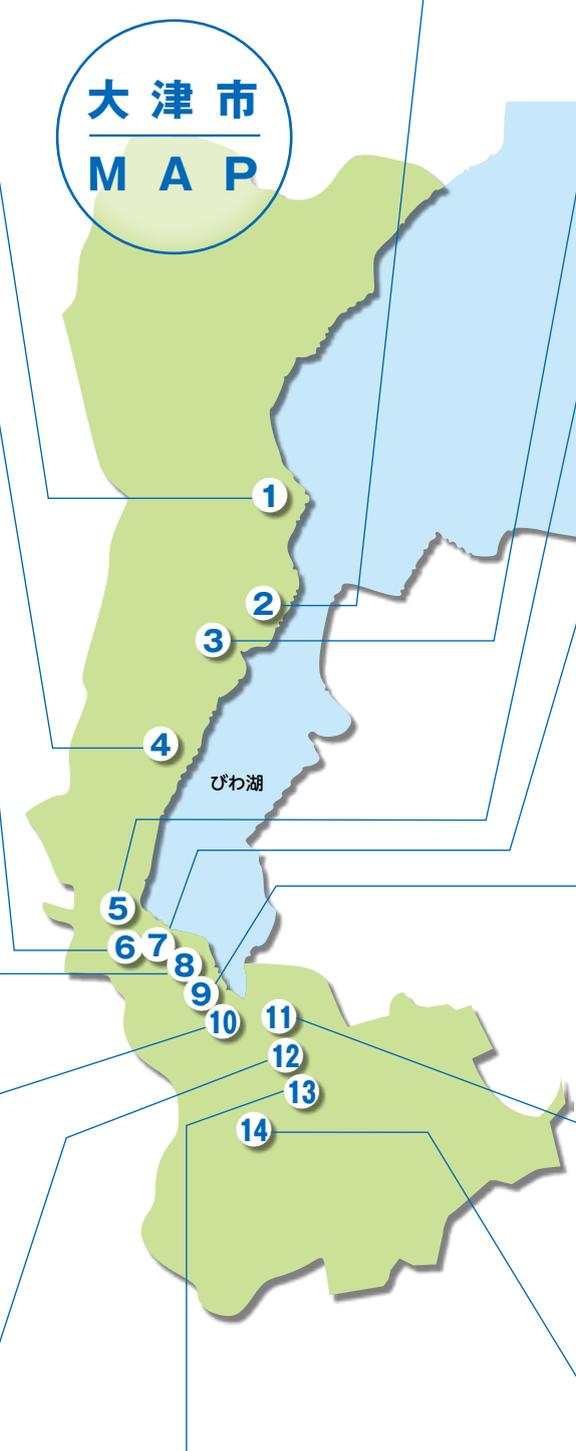
堅田駅西口土地区画整理事業をはじめ、ハード・ソフト面にわたり、様々な事業の推進に、皆様方と共に、精一杯地域に根ざした議員活動に邁進いたします。

**3 武田 平吾**  
たけだ へいご

大津市は産業というエンジンが非常に小さい箱舟のようなものであり、将来を展望し、びわ湖などの特性を活かした経済の発展に取り組む事により、市民サービスの向上に繋げることが出来るように市の体質改善をめざします。

**4 中野 治郎**  
なかの じろう

元気誠実・元気な人づくり、まちづくりに全力投球。  
 ①未来を担う大津っ子の育成。  
 ②文化遺産を活かした比叡山坂本のまちづくり。



**5 八田 憲児**  
はった けんじ

志賀小学校の教育環境の整備推進をはかると共に、高齢社会において、安心して暮らせる医療介護の体制整備を行い、市民が住みよい・住みたいまちづくりの実現に努めます。

**6 園田 寛**  
そのだ ひろし

人口減少時代を迎え、今こそ夢のある大津を目指さなければなりません。社会の宝である子供が輝き、お年寄りの知恵を生かして、伝統と文化に根ざす街づくりのため全力を尽くして参ります。

**7 伴 孝昭**  
ばん たかあき  
 幹事（会計、書記）

住んでよかったまち、住み続けたいまちを目指し、地域防災力の強化や中心市街地活性化基本計画にともなう、大津百町のまちづくりに取り組みます。

**8 竹内 照夫**  
たけうち てるお  
 幹事長

「JR膳所駅橋上駅化工事」は、平成27年度中の完成をめざし着実に進められています。「平野市民センター」の移転新築は平成27年度の着工に向け、平成26年度に「基本設計」と「実施設計」が行われます。

**9 竹内 基二**  
たけうち もとじ  
 幹事（広報）

膳所地域の歴史文化を生かした都市整備のための調査、民間保育園や介護施設の誘致と整備の推進、プロ野球公式戦が誘致できる皇子山球場のナイター照明整備など安心と希望のあるまちづくりを進めます。

**10 鷺見 達夫**  
す み たつ お  
 副幹事長

平成28年度に都市計画道路3.4.15号石山駅湖岸線が完成予定になっております。今後は京阪唐橋駅前踏切交通渋滞の解消に全力で取り組んでまいります。

**11 近藤 眞弘**  
こんどう まさひろ

1期の最終年度となることから、初心を忘れることなく、皆様にお約束した「安全で安心・活気と和みのあるまちづくり」を目指し全力で取り組むことは勿論、市民のための市役所改革と議会の活性化に向け全力を傾注してまいります。

**12 桐田 真人**  
きりた まこと

平成27年度の完了を目標として、平成24年度から順次実施されている「大津市立の中学校・小学校・幼稚園におけるエアコン設備整備事業」に引き続き取り組み、子供たちの健やかな成長に資する教育環境の実現に努めます。

**13 横田 好雄**  
よこた よしお

26年度予算が3月に可決しました。各種要望事業が着実に実施され成果を得るよう頑張ります。また懸案の大戸川ダム・同河川整備や、ほ場整備の促進・南桐線建設の実現に努めます。

**14 青山 三四郎**  
あおやま さんしろう  
 政調会長

平成26年度は議会及び議員活動として、大津市議会BCP等、市民の皆様と直結した政策を中心とした活動を行います。